

こどもの医療費、実は「タダ」ではない！

～知っておきたい、未来へつなぐ上手な病院のかかり方～



？ 知っていますか？こどもの医療費の仕組み

各自治体などで行われている、各種助成制度により、多くの地域でこどもの窓口負担は無料(または数百円)ですが、**医療費そのものがタダになったわけではありません。**

- 👉 **残りの医療費は？**：皆様が毎月納めている「健康保険料」と「公費(税金)」で100%賄われています。
- 👉 **過剰な受診が増えると**：健康保険組合の財政が圧迫され、将来の保険料率引き上げにつながる可能性があります。
- 👉 **適切な受診を**：医療財政を守り、健康保険制度を未来へつなぐためにご協力をお願いします。

👨👩 夜中の急な発熱、どうする？迷ったときの相談窓口

夜間や休日の急な体調不良時、慌てて救急外来に行く前にまずは以下のサービスをご活用ください。

📞 子ども医療電話相談「#8000」 💻 受診支援サイト「こどもの救急」

内容：夜間・休日に小児科医師や看護師に直接電話がつながる国の相談窓口です。
効果：症状に応じた応急処置や、今すぐ受診すべきかどうかの的確なアドバイスが受けられます。

運営：公益社団法人 日本小児科学会
内容：生後1ヶ月～6歳が対象。気になる症状(発熱・嘔吐など)を画面上でチェックするだけで、受診の目安がすぐに分かります。

【参考】子ども医療電話相談事業（#8000）について（厚生労働省ホームページ）

【公式 Web サイト】こどもの救急（公益社団法人 日本小児科学会）<http://kodomo-qq.jp>



上手な医療のかかり方

3つの約束



1

「かかりつけ医」を持つ

普段の健康状態をよく知る地域の小児科を決めましょう。



2

診療時間内の受診を

日中から症状がある場合は、夜間や休日を避け、通常の診療時間内に受診しましょう。



3

紹介状なしの大病院受診は控える

まずは、地域のクリニックを受診するなど「医療の役割分担」にご協力ください。

その風邪、本当に抗生物質(抗菌薬)が必要ですか？

～こどもの未来を守る、正しい服薬と薬剤耐性 (AMR) のおはなし～



なぜ？こどもの風邪に抗菌薬が効かない理由

風邪をひいた際、「抗生物質(抗菌薬)を出してほしい」と希望される方が多くいますが、**一般的な風邪やインフルエンザに抗菌薬は無効です。**

- 風邪の原因:「ウイルス」(抗菌薬はウイルスを殺せません)
- 抗菌薬が効く原因:「細菌」(溶連菌感染症や中耳炎など)

必要のない抗菌薬の使用は、体内の良い菌まで殺してしまい、下痢などの副作用を引き起こす原因になります。



風邪・インフルエンザ→原因:ウイルス→抗菌薬は×

溶連菌・中耳炎など→原因:細菌→抗菌薬は○



深刻な問題



薬剤耐性(AMR)



不適切な抗菌薬の使用を続けると、菌が薬に抵抗力を持ち、本来効くはずの薬が全く効かなくなる「**薬剤耐性(AMR)菌**」が生まれます。

- ✓ 将来のリスク:体内に耐性菌が増えると、将来本当に深刻な細菌感染症にかかった際、治療できる薬がなくなってしまいます。
- ✓ 医師の判断を信頼する:診察の結果「抗菌薬は不要」と判断された場合は、解熱剤などの対症療法でこどもの自己免疫力をサポートすることが、最も良い医療の選択です



抗菌薬が処方されたときの「正しい服薬ルール」

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

- ✓ **最後まで飲み切る**→症状が軽くなっても、自己判断により途中で止めてはいけません。
生き残った菌が耐性菌に変化します。

- ✓ **絶対に使い回さない**→過去の残り薬や、きょうだいの薬を飲ませることは極めて危険。
必ず、その時の診察による処方薬を服用させてください。

【出典】厚生労働省「抗微生物薬適正使用の手引き」、AMR 臨床リファレンスセンター「薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン」

こどもたちが将来にわたり質の高い医療を受けられる社会を残すため、子育て世代の皆様のご理解と適切な受診・服薬へのご協力をお願い申し上げます。[仙台卸商健康保険組合]